

Vol.197

院長 関の

Face to Face

2024年11月1日発行

当院は整骨院ですので転んで怪我をした方がお越しになりますがおかしくなると「一年に何度も転んでいる」とおっしゃる50代、60代の方が数名おられます。人は何故転ぶのでしょうか。それは「予測」と「反応」の調整が上手く働かない時に発生します。道路がでこぼこしていれば普通に歩いては転ぶと予測し、事前に歩き方を調整し転ばないようにします。それでも万が一バ

最近転んでいませんか？



ランスを崩した時は、身体を元に戻すために姿勢を変えたり、手足を使ったりする反応が起こります。この予測と反応は普段は無意識に働きますが、考え事をしていたり、ぼーっとしていたりすると本来脳に届く情報が入らないなどの理由から働きづらくなります。筋力の衰えや骨折などではなく、比較的若い人が転ぶということは、脳の働きに問題がある可能性が否定できません。よく転ぶ方への医師の質問としては①ろれつ

が回らないか②物が二重に見えるか③頭痛がある、或いは頭が重いか④身体の何処かに痺れや感覚のおかしさを感じるか で、良く転ぶ人がこれらのどれかひとつでも当てはまる場合は、早急に医師に相談する必要があります。抗不安薬、睡眠導入剤、抗精神薬、降圧剤、血糖降下剤、神経性疼痛緩和薬など、副作用に「転倒」が懸念される薬もあります。最近何だかよく転ぶなあ、そんなに歳でもないのに……と不安を感じたらまずは当院へご相談ください。



関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院・マッサージ院 院長

代替医療の総合治療院としての

確立を目指す。タイトルの「Face

to Face」は「患者さん自身と向き

合って患者さんの症状と闘う」こ

とを願ってつけた

※毎月一日の発行です